

湯川村の風景を  
未来に残したい。  
農業の見える化を  
自らの力で実践。



たかぎ しんや  
高木 伸也 さん(30代)

<湯川村>

農家  
(農業)

2021年 Uターン

## 湯川村の農家にUターン

『湯川村は会津盆地のほぼ真ん中にある、福島県で一番小さな村です。標高180mで山がなく平坦な地形を活かした米作りが盛んで、人口約3,000人の村の基幹産業となっています。高木さんの家も代々続く農家で米とトマトを作っていて、小さな頃から父親の忙しい背中を見て育ったそうです。』

大学進学や就職で実家を離れて生活をしていた高木さんが湯川村に家族で移り、農業を始めたことは村でも話題になりました。高木さんが、農業を始めるに至ったきっかけ、移住してからの思いなどをご自宅にお伺いし取材しました』

取材日 2022年11月9日

## 移住のきっかけと農業のこと

### <移住のきっかけ>

正直、農家に生まれたからといって農業をするという事はあまり考えていませんでした。そんな中、大学生時代に東日本大震災があったことが考えを改めるきっかけとなりました。都内での就職を考えていた私でしたが、原発事故の風評被害が目立つ中、福島県内で頑張っている方々の姿を目にしていくうちに、福島県での就職を考えるようになっていました。父が農業をしていたこともあり、逃げたくないという思いがあったのだと思います。就職先は福島県内の農業関連の組織に入りました。その頃少なからず続く風評被害と闘いながらも楽しく営農している農家の方々と接する機会が多く、農業・農業従事者に魅力を感じ、生業にすることを意識するようになりました。

湯川村は、農業の支援も手厚いこと、子育てに力を入れていることなどもあり、移ることの魅力が多く、あまり戸惑いはなく、2021年に移りました。

### <移住について奥様の意見>

妻は農家育ちではないので、不安もあったと思います。ですが、子育てにおいて自然(生き物や植物)との関わりは大切だと考えていたので、田園風景の広がる湯川村での暮らしは少なからず魅力はあったのだと思います。実は、農業をするかどうか迷っていた時期、私の背中を押してくれたのは妻でした。



### <湯川村に戻って>

最初から新型コロナウイルスの影響で米の需要が減少し価格が暴落した年だったので、1年目から農業の厳しさをまざまざと感じました。それでも、父を含め先輩農家の方々の意地と根性を目の当たりにし、農業を生業にするという覚悟を改めて自覚する機会となりました。大変なことも多々ありますが、地域の方々の支えやお客様とのつながりもあり、お陰様で楽しく営農しています。

# 農業のこと、湯川村の魅力

## <農業のこと>

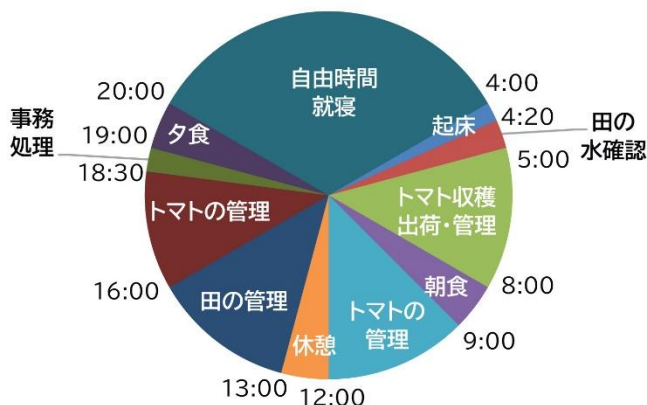
就農1年目は、農業に身体がついていかず、へこたれていた時期もありました。それでも、作物ができる喜びはたまらなく、また、それを美味しいと言ってもらえた時には得も言われぬ喜びを感じます。

また、農業は1人ではできないことを痛感しています。地域の方々の理解や協力があって成り立っていることが多く、その結果として田園風景が代々守られてきました。この地の(農業の)歴史の中で、これまで受け継がれてきたことを守りながらも、自分ができること、やりたいことに挑戦し、1歩1歩前進してい



湯川村は集落のすぐ近くに田んぼや畑がある

## ある一日のスケジュール



きたいと思います。その結果、この田園風景を守ることにつながれば幸いです。まずは「家業」から「事業」にすることを目標に日々精進していきます。

## <湯川村の魅力>

会津は「米どころ」として知られています。中でも湯川村は「米と文化の里」をスローガンとし、古くから米作りが盛んに行われてきました。田んぼから見渡せば周囲には山々が、東には名峰「会津磐梯山」がそびえ立っています。

その山々から湧き出る様々な源流の水は湯川村に流れ込み肥沃な大地が作られます。

また湯川村は盆地のほぼ真ん中に位置し風通しが良いこともあって、作物の生育に重要な良質な水・土・空気の3拍子揃った環境が整っています。そんな恵まれた大地で農業ができることに誇りをもっています。

会津盆地のおよそ真ん中という立地で、会津若松市・喜多方市などへのアクセスに優れている他、子育て支援に力を入れている点や、田舎特有の暖かい風土、助け合いの心がある点も魅力だと思います。

小さな村ですが「道の駅あいづ 湯川・会津坂下」もあり、うちのお米も含め地元の特産品が多く並んでいます。平日でも賑わうほど魅力溢れる施設で、一度足を運んでいただければ魅力も感じてもらえます。

## 高木さんの行動歴

湯川村生まれ ⇒ 東京都(大学) ⇒ 福島市(就職)  
⇒ 湯川村へ

## 移住を検討している方にアドバイス

自分が何を重視するのか、それに合った地域なのかじっくり調べること。一人で考えずに、役場の人や地域の方と話をするといいと思います。



思わず笑顔になるものを目指して、田園たかぎfarmのお米

現住人口	3,005人 男性/1,466人 女性/1,539人
面積	16.37平方キロメートル
標高	海拔 180.3m(湯川村役場)
最寄駅	JR磐越西線「会津若松駅」
最寄IC	磐越自動車道「会津若松IC」
保・幼・こ	認可保育所 1か所 幼稚園 1園
小学校数	公立 2校
中学校数	公立 1校
高校数	なし(周辺の市町にあり)
病院数	なし(周辺の市町にあり)
村の特徴	湯川村は福島県で一番小さな村である。4キロメートル四方のこの村では、米作りが盛んで、秋にはまるで村全体が一枚の田んぼのような美しい風景を見せる。村の古刹、勝常寺の本尊である薬師如来坐像は国宝の指定を受けている。

移住 サポート 窓口	湯川村役場(産業建設課) 湯川村公式WEBサイト 移住支援施策 <a href="https://www.vill.yugawa.fukushima.jp/shoukoukankou/iju01_2.html">https://www.vill.yugawa.fukushima.jp/shoukoukankou/iju01_2.html</a> 電話:0241-27-8831 メール:kanko@vill.yugawa.fukushima.jp
------------------	--

